

南ア・甲斐駒ヶ岳(黒戸尾根)

日程:2008年11月8~9日

メンバー:L白土、神戸(記録)

行程

11/8(土) 曇りのち雪

5:55 竹宇神社・駐車場~8:00 横手・白須分岐
~10:00 刃渡り~11:00 五合目~12:10 七丈小屋

11/9(日) 曇り

6:10 七丈小屋~7:00 八合目~8:10 山頂 8:30
~9:40 七丈小屋 10:20~11:40 刃渡り~13:00
横手・白須分岐~14:20 竹宇神社・駐車場

私は行く予定はないけれど、一応、北鎌に向けてのトレーニング山行。標高差のある登りを敬遠して、なかなか行く機会がなかった山なので行ってみることにした。

駐車場には車が3台しか止まっていない。一張テントがあったけれど、結局、翌日、七丈小屋に戻ってくるまで誰にも会わなかった。明るくなる頃に歩き始める。東京、神奈川から比較的近い山なのに、こんなに人が少ないとは思わなかった。前の週に行った南アルプス深南部の黒法師の方がもっと人がいた。徐々に静かな山歩きを楽しむ。登山道は思っていたよりも全然歩きやすく、さほど急登もない。

嫌だなあと思っていた刃渡りは足場がしっかりしていて、あまり怖くなかった。去年、行った槍から北穂のキレットの方が怖かった。しばらくすると、五合目。五合目小屋と地図に書かれているけれど小屋はなくなって、跡地にはごみが散乱している。黄蓮谷のアイスクライミングは、ここから谷に下りて行くそう。凍った干丈滝を見てみたいけど登るのは無理そう…。八ヶ岳でしか見たことがないけれど凍った滝や沢は、とても綺麗で、アイスクライミングと寒いのは苦手だけれど、

見に行きたいと思ってしまう。

五合目を過ぎるとハシゴや鎖場が数カ所出てくる。1時間ほどで七丈小屋に到着。小屋にも主人以外に人はいない。テレビもあってなかなか快適そう。ストーブが暖かい。少し離れて無人小屋と綺麗なトイレがあり、数分登った所が幕営地で2段になっていて平らで広い。午前中から降っていた雪が少し積もってきた。

11/9(日) 曇り

夜が明けてから出発。先行者の足跡がしばらく続くので後を追ってゆく。鳥と小さな動物のよう。姿が見られなくて残念。八合目に着くと倒れた鳥居がある。何年か前までは立っていたそう。ハシゴ、鎖場が出てきて、ちょっとした岩場が続く。急なルンゼを過ぎると視界が開ける。積もった雪の下が凍っていたりするので、気を付けながら歩いて行くが、アイゼンをつける程ではない。風も強くなく快適に歩いていると、祠のようなものが見えてきて、まもなく山頂。空は一面雲に覆われているけれど、周りの山々はよく見える。うっすらだけど久しぶりの雪景色をゆっくり眺める。この辺りの山は北岳しか登ったことがなく、いつか縦走してみたい。鋸岳には近寄りたがいけれど。

幕営地に戻ってテントを片付け、下山。七丈小屋で二人連れに会う。これから山頂に行くようだ。順調に下り、沢の手前で何人かハイキングをしている人とすれ違う。尾白川にかかる吊橋を渡るとすぐに竹宇神社。葎崎の温泉に入って帰宅。炭酸の泡が体中にまとわりつく、おもしろい泉質です。

以上